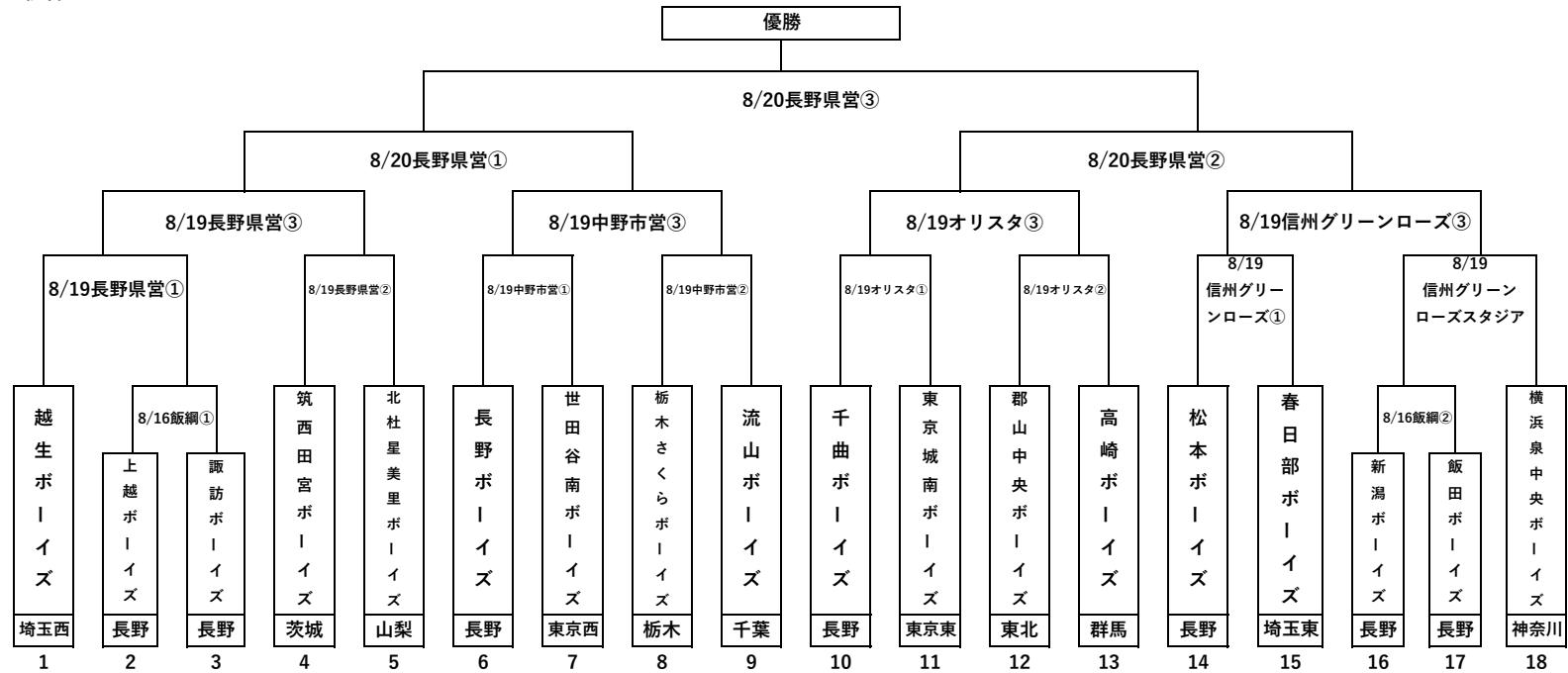


8月16日(水) 1回戦
 8月19日(土) 2回戦・準々決勝
 8月20日(日) 準決勝・決勝
 ※予備日 8月26日(土)

開会式:無し
 閉会式:決勝後

第10回 日本少年野球 長野大会トーナメント表

試合開始時間 (16日・19日・20日)
 第一試合 9:00
 第二試合 11:30
 第三試合 14:10



- 長野県営野球場
- 長野オリンピックスタジアム (オリスタ)
- 飯綱ふれあいパーク野球場

- 長野市大字東和田 587
- 長野市篠ノ井東福寺320
- 長野県上水内郡飯綱町大字牟礼 1989

- 中野市営野球場
- 信州グリーンローズスタジアム (旧 松本四賀野球場)

- 長野県中野市一本木522
- 長野県松本市会田2920

※19日が順延の場合、20日の使用球場

- 長野県営野球場
- 中野市営野球場
- 高田城址公園野球場
- 大町野球場

- 長野市大字東和田 587
- 長野県中野市一本木522
- 新潟県上越市本城町46-1
- 長野県大町市常盤5638-44

第 10 回長野大会

【特別規則】

1. 1チームの登録選手は 11 名以上、25 名以内とし、ベンチ入りは 25 名以内とする。
2. 出場選手は、本大会開始日現在で連盟登録済みの選手とし 1 年生および 2 年生とする。
3. 資格審査にあつては、選手登録名簿により資格審査証の照合を行う。
4. 組合せ表の若番号（小さい）が 1 塁側ベンチ、後番号（大きい）は 3 塁側ベンチに入る。
5. 登録選手および登録されたチーム責任者（チーム代表または代理責任者で連盟指定の服装でチーム責任者証を携帯する者）・監督・コーチ・マネージャーのみベンチに入ることができる。ただし、チーム責任者・監督・コーチは連盟登録証を携帯すること。また、選手については試合終了までに資格審査証が確認できればその時点でベンチ入りを認める。尚、チーム責任者が不在の場合は試合進行できない。また、マネージャーは同チームの帽子を着帽し、スポーツウエア、トレーニングシューズ（Gパン、ハイヒール、サンダルなどは禁止）等相応しい服装とする。
6. 監督（背番号 60）、コーチ（背番号 50）は選手と同じユニホームを着用すること。尚、パンツはレギュラーパンツとし、ストッキングが見えるよう折り返す（ロングパンツ禁止）。また、頭髮はリーグ指導者に相応しい形とする。（極度の長髪、染髪は禁止）
7. 試合で使用する用具については、連盟「ボイズリーグの用具について」を遵守する。
 - （1）ユニホーム、バット、ボール、スパイク、グラブ、ヘルメット等は連盟指定業者のものを用意し、審査を受けること。
 - （2）ヘルメットは、各チーム 7 個以上用意し、同色で安全なものを着用すること。
 - （3）手袋、リストバンド、エルボーガード、フットガードの使用を認める。
 - （4）選手の遮光目的のサングラスの使用については、ミラータイプは使用禁止し、自分の目が相手側に判る範囲のものに限る。プレイに支障があり使用する場合は、球場責任審判員に確認をすること。原則指導者の使用は禁止する。
8. 試合開始時間 60 分前に試合会場に到着し、到着と同時に選手役員登録名簿とオーダー表を 5 部作成し、会場本部に提出し、所定の審査を受けること。
9. 試合開始時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球審は没収試合を宣言することができる。
10. オーダー表交換時に両キャプテンにより先攻、後攻をジャンケンで決める。5 分間ルールは、適用しない。
11. 試合前のシートノックは 5 分間行なうが、当該球場（グラウンド）の状況や試合終了時間を勘案して、シートノックを行なうか否かは球場責任者が決定するものとする。なお、守備位置につかずシートノックの補助をする登録選手はヘルメットを着用すること。
12. 試合方法など
 - ① 試合は 4 イニング終了をもって正式試合とする。試合成立後は開始から 2 時間（決勝戦は 2 時間 20 分）を超えた場合、新しい イニングには入らない。（ただし、後攻チームの得点が先行チームの得点よりも多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する。）
 - ② 4 イニング終了時 10 点差、5 イニング終了後 7 点差の場合、コールドゲームとする。
 - ③ 7 イニング終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長 8 回（決勝戦は 10 回）あるいは、試合開始から 2 時間（決勝戦は 2 時間 20 分を超えて（どちらか早い方）新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。（競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照）。
13. 降雨や視界不良等により試合続行が不可能となった場合、両チームが完了した均等イニングの総得点で勝敗を決定する。同点の場合は、最終イニング終了時点で出場していた選手全員の抽選とする。なお、試合成立前に前述理由により試合続行不可能となった場合は、サスペンデッドゲームとする。
14. 投手については、「中学生投手の投球制限統一ガイドライン」を適用する。（球数制限）
15. 攻守で監督およびコーチの指示は 1 試合で各 2 回の計 4 回を限度とする。延長に入った場合は 1 回の指示伝達を認める。（選手の怪我、選手交代時等は回数にカウントしない）守備側にて投手に対する指示伝達が 3 回となれば、自動的に投手交代となり、その投手は他の守備についても良いが、再び投手として登板することはできない。内野手（捕手を含む）の 2 人以上が投手のところに行った場合は、1 回と数える。また、指示伝達は審判がタイムを宣告してから、「30 秒」以内とする。

16. 監督または、コーチが選手にアドバイスをするとき、マウンドまで行き選手に指示を出せる。グラウンドに出るときは、ユニホーム姿となり、駆け足で往復すること。グラウンドコート着用は認めない。
17. 監督、コーチおよび選手は、審判のジャッジに対して絶対服従し抗議することは厳禁とする。但し、規則上の疑義の申し出については、監督または問題の当事者が審判に説明を求めることができる。この場合「3分以内」とする。
18. 2塁走者やベースコーチ等がサインを盗んで、打者にコースや球種を伝達する行為を禁止する。
19. ボール回しをするときは、1回りとし最終野手はその位置から投手にボールを返球すること。また打者が打撃継続中に塁上で走者がアウトになった場合は、ボール回しを禁止する。
20. 投手は、走者をアウトにする意思がないのに、無用な牽制球を繰り返す等、送球するマネを何度も繰り返す行為は試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止とする。
21. ベースコーチは、危険防止のためヘルメットを着用すること。
22. 捕手は、ボールを受けるときは、必ずヘルメットを含め規定防具一式を練習、試合を問わず着用すること。
23. 球場（グラウンド）の都合で、グラウンドルールが別途制定されている場合はその規則に従うこと。
24. ベンチ内での携帯電話の利用を禁止する。メガホンのベンチ内持ち込みは2個とし監督とコーチの使用に限る。
25. 試合中の投球練習は2組までとする。また試合中、ベンチ横で1名の素振りは認める。素振りをする選手は必ず両耳付きヘルメットを着用すること。なお、球場（グラウンド）によっては使用の制限をする場合もある。
26. グラウンド内のブルペンで投球練習を行うときは安全対策上、打撃監視員を必ず1名おくこと。
27. ボールボーイは必ず両耳付きヘルメットを着用し、各チーム2名とする。ボールボーイはバット引きは行わない。
28. 4回終了時にグラウンド整備を行う。両チーム5名が出て走路を中心に整備すること。ただし、日没・天候等々で心配懸念される場合は、球場責任者・責任審判員の判断により行わない場合もある。なお、グラウンド整備中は時計を止めるが、止め忘れた場合には、試合時間を5分間延長する。
29. 光化学スモッグ、雷雨の発生（予報、注意報、警報）の場合は、試合および各チームに対する措置は別に定め、運営委員の指示に従うこと。
30. 次試合の開始時間（目安 30分後程）は、球場責任者と球場責任審判員で決定する。（整備は機敏に行う）
31. 試合中及びその前後を問わず、選手の怪我等については各チームで対応する。
32. チーム帯同審判員は、自チームの試合会場での試合を担当する。第1試合開始予定時間の1時間前にはグラウンドに到着し、球場責任審判員に氏名および所属チームを報告すること。その後は、球場責任審判員の指示に従って割り当て試合の審判および控え審判業務を担当する。また、審判用具（球審及び塁審）一式は持参して下さい。

タイブレーク実施細則

（1）延長回に関する特別規則

- （イ）延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて（いずれか早い方）、決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて（いずれか早い方）両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃は一死走者満塁の状態から行うものとする。
 - （ロ）打者は前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
 - （ハ）この場合の走者は前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者、そして二塁走者の前の打順の者が三塁走者となる。
- （二）この場合の代打、代走は認められる。

注意事項・確認事項

1. 各球場において『置き引き、貴重品の盗難、車上狙い』が発生しています。これらの被害に逢わないように、各自で管理を厳重にして下さい。
2. 喫煙マナーについては、歩行喫煙やポイ捨ては厳禁です。各球場の定められた場所での喫煙にご協力をお願いします。

3. 問題が発生した場合は、事象の大小に拘わらず大会実行委員長へ連絡を入れて下さい。
〔大会実行委員長 加藤隆紀 携帯090-9666-4661〕
注) 上記に示す以外は、公益財団法人 日本少年野球連盟規定を準用する。
4. 連盟発出の「新型コロナウイルス感染防止対策 2023 修正新ガイドライン」及び東日本ブロック通達事項に準拠する。チーム関係者の検温は、チームで実施する。
5. 会場サポートチーム責任者は、1日目の勝ち上がりチームの役員・選手登録表および投球数記録表をもって、2日目の球場に持参する事。
6. ボールは、本部にて用意するが、ロジンは各チームにてご用意願います。
7. アナウンスは当該チームでお願いします。